

2013. 2. 3

NPO法人シンクキッズシンポジウム

基調講演

国松 孝次

御紹介を頂きました国松でございます。御指名でございますので、一言開会の御挨拶をさせていただきます。本日は、NPO法人シンクキッズが子供の虐待、特に性虐待から子供を救うためにと題するシンポジウムを開催いたしましたところ、こんなに大勢の皆様、お休み中のところをお出掛けくださいまして、誠にありがとうございます。本日は、これから岡村先生の基調講演を頂いた後、それぞれの専門家の皆様方によるパネルディスカッションを行うわけでございますが、フロアの皆様方からも積極的な御参加を頂きまして、この会が大変有意義なものになるように心から祈念をしているところでございます。「子供虐待」、あるいは「児童虐待」という言葉が、今や一つの成句として成立をしております。これは、ある意味では残念なことでありますが、ただ単に、子供を虐待するという、一つ一つの行為をさすのでなくて、「子供虐待」という一つの社会現象を表現する言葉として、もうどなたの間にも定着してしまっているというのが現実でございます。英語では、昔からチャイルド・アビューズ(child abuse)という成句が成立してしまっているのですが、日本もアメリカなどと同じになってしまった。アメリカなどでは、最近ではスクール・シューティング (school shooting) といって、学校でぼんぼんぼんぼん拳銃をぶっ放すという嘆かわしい社会現象が定着してしまっております。日本は絶対そうならないようにみんなが努力していかなければならないと思っておりますが、いずれにいたしましても、子供虐待、児童虐待という言葉が一つの社会現象として存在するものに対する表現としてあるわけですから、それに対して、どういようにしてそれを少なくしていくかということも、これは、個々の、一人一人の、あるいは一つ一つの行為の積み重ねというだけでなく、制度として一つの社会の仕組みとしてそれを作った上で対応していかないと、ちょっと間尺に合わない、そういう事態になっているのだらうと思っております。その制度を作るといようなことになると、やはりこれは、端的に申しまして、国の法律で基本的なところを決める、立法措置を取る、というやり方が一番筋道が通りますし、迫力も説得力も出てくるということであらうと思っております。この立法措置のすごさといいますか、威力というものは、私も今までいろんなところで体験してまいりました。現役時代には暴力団対策法という法律の立案作業にたずさわったことがあります。この法律の成立によって、警察の暴力団対策は、目に見えて、ぐっと前へ進んだという事実がございます。それから、後ほどお話しいたきます岡村先生が心血を注いで犯罪被害者等基本法の制定に多大の貢献をなさいましたが、この法律の成立によって、被害者支援活動や、被害者自体の自立の活動というようなものが、今までとぐっとワンランクアップした形で展開されるようになったというようなこともございました。やっぱりこれも一つの法律の効果だらうと思いま

す。また、私は今、ちょっと紹介にもありましたけれども、ドクターヘリの普及活動をやっておりますが、これも平成19年にドクターヘリ特別措置法という法律を議員立法で作っていただきました。これによって、ドクターヘリの導入ががっと前へ進みまして、導入の速度がそれまでと3倍以上になったという事実がございます。そういうようなことで、やはり物事を何かやろうと思ったら、何といたっても立法行為でその基本を定めるのが一番です。つまり、国会は国権の最高機関ですから、そこで決まれば、物事に大きな広がりも出てまいります。迫力も出てくるということでもあります。この子供虐待というようなことにつきましても、皆さんの御努力で、何とかそういった法律的な措置を積み重ねることによって充実していくという方向が取られるべきであろうと思います。現在、児童虐待防止法というのがあるようですが、どうもお聞きしますと、ちょっとまだ間尺に合わないところがあるということでもあります。それをきちっと現場の状況に合った形に改正をしていくということがやはり必要であろうと。今日は後ほどそういうことが議論をされることになると思いますので、大いに期待をしているところでございます。なお、一つ付け加えさせていただきますけれども、このNPO法人シンクキッズをやっておられる後藤君は、昔、私が警察におりますときに、法律の企画、立案などの面で大いに活躍をしてくれました。ひとつの制度を作り上げていく、制度設計能力に非常に長けておる男であります。その彼が弁護士になりまして、法律的な知識をそれにオンしまして、昔の自分の知識、経験というものを生かしながら、いろんなところで、単なる弁護士活動でなくて、社会活動をしています。この子供虐待の防止という問題も、彼のライフワーク的な仕事になると思うのでありますけれども、どうか御参会の皆様方の後藤君が主宰するこのシンクキッズの活動に今後ますます一層の御支援を賜りますことをお願いいたしまして、私の開会の御挨拶にさせていただきます。どうもありがとうございました。

以上